

令和7年6月30日

事務局各部長  
各部局等事務（部）長 殿  
監査室長

環境ワーキンググループ長

### プラスチック廃棄物削減の取組の推進について（通知）

本学では、SDGsの達成に向けた活動の一環として、「鹿児島大学プラスチック廃棄物の削減推進方針」を定め、キャンパスにおけるプラスチック廃棄物の削減及びプラスチック廃棄物に関する教育研究等の推進に取り組んでいます。

については、以下のとおり、プラスチック廃棄物削減の取組を推進していただくようお願いいたします。

#### 1. 資源物（缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器等）の分別の徹底について

鹿児島市<sup>※1</sup>の「資源物やごみの分け方（事業所掲示用）」及び「事業所ごみの適正処理ガイドブック」に基づき、ポスターを作成しました。ゴミ箱やごみ置き場に掲示し、分別の徹底をお願いします。

特に、学生・教職員が飲食した缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器で、きれいに洗って分別してあるものについては、資源物としてリサイクルされますので、分別の徹底をお願いします。

また、分別回収が促進されるよう、ゴミ箱・ごみ置き場の数、大きさ、位置、サイン等についてもご確認の上、必要に応じて改善していただきますようお願いいたします。

<sup>※1</sup>鹿児島市 HP：<https://www.city.kagoshima.lg.jp/kankyo/seiso/haikibutsu/kurashi/gomi/jigyosha/ippan/gomi.html>

鹿児島市外のキャンパスは、各市町村のルールに従ってください。

家庭ごみの分け方とは異なりますのでご注意ください。

#### 2. マイバック・マイボトルの利用促進について

マイバック・マイボトルの利用促進に向け、ポスターを作成しました。学生・教職員へご周知いただき、取組を推進していただくようお願いいたします。

また、マイボトルの利用促進に向け、ウォーターサーバーの設置についても、積極的にご検討いただくようお願いいたします。

本件に関する問い合わせ先

---

施設部 企画課  
Tel.099-285-7221（内線7221）  
✉. kkikaks@kuas.kagoshima-u.ac.jp



## プラスチックごみ Plastic waste



がついているものはすべて対象となります。

きれいに洗って分別してあるもののみ、資源物として受け入れられます。

汚れているものは、家庭とは異なり「産業廃棄物」となります。



カダイから ミライをつくる





## 缶・ビン Cans/Bottles



きれいに洗って分別してあるもののみ、資源物として受け入れられます。

汚れているものは、家庭とは異なり「産業廃棄物」となります。

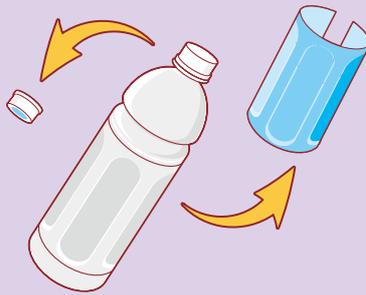
外れたふたは金属類へ。

ラベルははがさず、缶はつぶさずに缶・ビン一緒の袋へ。



カダイから ミライをつくる





## ペットボトル PET bottles



きれいに洗って分別してあるもののみ、資源物として受け入れられます。

汚れているものは、家庭とは異なり「産業廃棄物」となります。

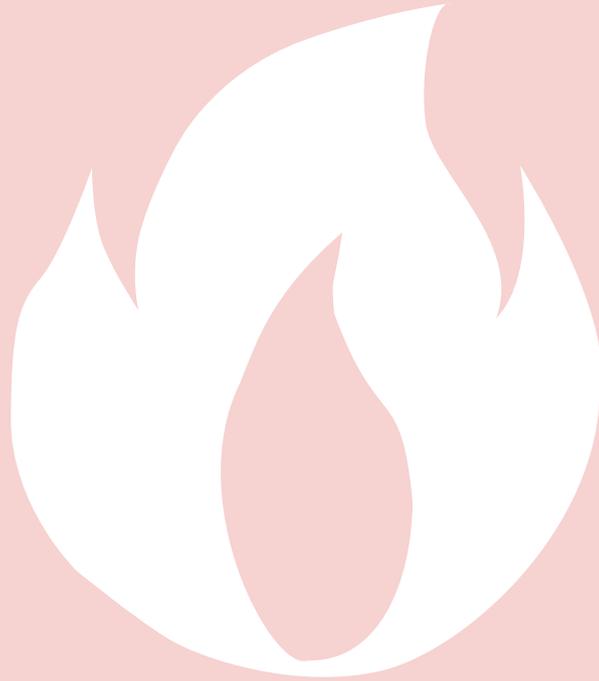
つぶさずに袋へ。

キャップ・ラベルはプラスチックへ。



カダイから ミライをつくる





## もやせるごみ Burnable waste



 がついているものは、きれいに洗って「資源ごみ」に分別しましょう。

汚れている「プラスチックごみ」は、家庭とは異なり「産業廃棄物」となります。

剪定枝は「資源ごみ」となります。

カダイから ミライをつくる



廃プラスチック類



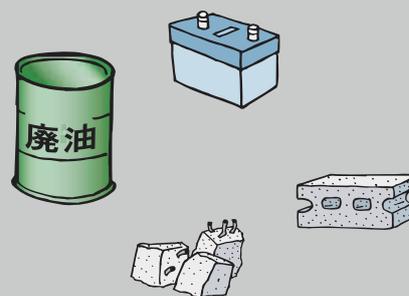
ガラス  
陶磁器



金属くず



その他



# 産業廃棄物

Industrial waste



 がついていても、汚れているものは「産業廃棄物」となります。  
種類ごとに分別すること。分けられない製品は混合物の産業廃棄物となります。

カダイから ミライをつくる





マイバックを持参して、ビニール袋の利用を控えよう。  
マイボトルを持参して、ペットボトルの利用を控えよう。



# 国立大学法人鹿児島大学 プラスチック廃棄物の削減推進方針

令和6年3月12日

学 長 裁 定

SDGsの達成に向けた活動の一環として、「鹿児島大学における地球温暖化対策に関する実施計画」に基づき、キャンパスにおけるプラスチック廃棄物の削減及びプラスチック廃棄物に関する教育研究等の推進に取り組むため、プラスチック廃棄物の削減推進方針を定める。

## 1. キャンパスにおけるプラスチック廃棄物の削減

次に掲げる取組みによって、キャンパスにおけるプラスチック廃棄物の削減を図る。

- (1) マイバック・マイボトルの利用促進
- (2) 大学グッズの脱プラスチック促進
- (3) 分別回収（資源、不燃（廃プラ他）、可燃）の促進

## 2. プラスチック廃棄物に関する教育研究等の推進

プラスチック廃棄物に関する教育研究、学生・教職員への啓発活動及び地域と一体となった教育研究を通じた社会貢献を推進する。

## 3. 推進体制

環境ワーキンググループが主体となり、学生・教職員一丸となって推進するとともに、取組事例の積極的な発信に努める。

# 鹿児島大学 プラスチック廃棄物の削減推進方針

鹿児島大学は、SDGsの達成に向けた活動の一環として、「鹿児島大学における地球温暖化対策に関する実施計画」に基づき、**キャンパスにおけるプラスチック廃棄物の削減及びプラスチック廃棄物に関する教育研究等の推進**に取り組みます。

## 1. キャンパスにおけるプラスチック廃棄物の削減

### (1) マイバック・マイボトルの利用促進

- ・学生、教職員、関連業者への利用呼びかけ（パンフレット配布等）
- ・大学グッズの検討・開発・販売



### (2) 大学グッズの脱プラスチック促進

- ・循環型素材への転換



### (3) 分別回収（資源、不燃（廃プラ他）、可燃）の促進

- ・ゴミステーションの分別回収対応化の促進
- ・分別回収の啓発（不燃（産業廃棄物）も廃プラなど種類毎に分別）

## 2. プラスチック廃棄物に関する教育研究等の推進

### (1) 教育

- ・関連する教育の推進
- ・学生・教職員への啓発



▲漁業関係者と協力して回収した海洋ごみ(水産学部事例)

### (2) 研究

- ・関連する研究の推進

### (3) 社会貢献

- ・地域と一体となった教育研究を通じた社会貢献の推進

## 3. 推進体制

### (1) 推進体制

- ・環境ワーキンググループが主体となり、学生・教職員一丸となって推進

### (2) 取組事例の発信

- ・HP、環境報告書、SDGs事例集等を通じた取組事例の積極的な発信



# 鹿児島大学 プラスチック廃棄物の削減推進のための行動計画

取組		年度						
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
		2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030*
1. キャンパスにおけるプラスチック廃棄物の削減	(1) マイバック・マイボトルの利用促進	①学生・教職員、関連業者への利用呼びかけ（パンフレット配布等）						
		②大学グッズの検討・開発・販売						
	(2) 大学グッズの脱プラスチック促進	循環型素材への転換						
	(3) 分別回収（資源（缶・ビン、ペットボトル等）、不燃（廃プラ他）、可燃）の促進	①ゴミステーションの分別回収対応化			②分別回収の啓発（パンフレット配布等）			
	2. プラスチック廃棄物に関する教育研究等の推進	関連する教育研究の推進						
		地域と一体となった教育研究を通じた社会貢献の推進						

※「鹿児島大学における地球温暖化対策に関する実施計画」における温室効果ガス削減の目標年度。「プラスチック資源循環戦略（環境省）」におけるワンウェイプラスチック排出抑制等の目標年。